

静岡県精神保健福祉協会

News Letter -No.35-

巻頭言

静岡県精神保健福祉協会 常務理事

大橋 裕

(地方独立行政法人 静岡県立病院機構 県立こころの医療センター 院長)

県民のメンタルヘルスを守ること

令和6年度より本協会の常務理事を拝命しました大橋と申します。
宜しくお願い致します。静岡市内の病院で診療をしていますので、
普段は医療という立場から皆様のメンタルヘルスに関わっています。
微力ではありますが、静岡県民の精神保健福祉の向上に貢献できれば
と存じます。

皆さまご承知の通り、令和6年4月に改正された精神保健福祉法に
は、精神保健に関する相談支援の対象として、「精神障害者」ととも
に「精神保健に課題を抱えるもの」が明記されました。

厚生労働省の発表によると、精神疾患を有する方の総数は平成29年に420万人でしたが令和
5年には603万人と、3割近くも増加しています。コロナ禍を経て大きく変わった生活の様式
や景気の動向、さらに国際紛争が絶えないことによる不安定な社会情勢などが国民のメンタ
ルヘルスに影を落としているのでしょうか。特に、様々な年代のうつ病、大人の発達障害、お
酒や薬物だけでなくゲームやギャンブルへの依存、摂食障害、認知症などの患者さんがこれ
まで以上に増えています。また、虐待やDV、引きこもり、妊娠・出産から子育ての悩み、介
護負担など、多くの方がメンタルヘルスに課題を抱えていらっしゃいます。

このように、精神保健に関する課題は複雑多様化しています。私たち医療（精神科や心療
内科）が、悩んでいる・困っている方々のお役に立てるとしたら、お話をよく伺いながら寄
り添い、適切な治療を提案することに尽きます。勿論、保健・行政や福祉とも密接に連携し
ながら、良質で安全な医療を提供して参りますので、お近くのクリニックや病院にいつでも
気軽にアクセスして下さい。

静岡県民の皆様におかれましては、本協会の活動とともに、私たち医療提供者にもご理解
とご支援を賜りますよう、お願い致します。



第64回 静岡県精神保健福祉協会 理事会・総会を開催しました

令和7年6月11日（水）静岡県男女共同参画センターあざれあ6階大ホールにおいて、第64回静岡県精神保健福祉協会総会が開かれ、協会役員、個人会員、各会員機関、団体の代表者など多くの方々が参加されました。

総会に先立ち、来賓 静岡県健康福祉部長 青山秀徳様より御祝辞をいただき、また石田多嘉子名誉会長が御挨拶を申し上げました。

その後、静岡県知事功労別表彰、精神保健福祉協会長表彰の表彰式が行われ、続いて、総会では令和6年度の事業報告、歳入歳出決算、監査報告、令和7年度事業計画、歳入歳出予算など4つの議案が審議され、無事可決されました。



来賓 祝辞
静岡県健康福祉部長
青山 秀徳 様



挨拶
石田 多嘉子 名誉会長



〈総会〉



〈理事会〉

午前には、あざれあ特別会議室にて理事会が開催されました。

総会審議に先立ち、令和6年度の事業報告、令和6年度歳入歳出決算・監査報告・令和7年度事業計画案、令和7年度歳入歳出予算案が審議され、可決されました。

また、こころの健康づくり講演会の第2回選考委員会も開催され、1団体が選考されました。



記念講演会

統合失調症の養生

～心はどこまで脳なのか～

放送大学教授

糸川 昌成 氏



総会終了後、第64回 静岡県精神保健福祉協会総会 記念講演『統合失調症の養生～心はどこまで脳なのか～』と題して、放送大学教授の糸川昌成先生をお招きして講演会を開催しました。

著書も多く、統合失調症の研究においては第一人者の糸川先生の講演会ということで大変関心が高く、313人の来場がありました。

「心は脳より大きい」、心には、モノ部分（脳）とコト部分（脳以外）がある。モノ部分（脳）は、頭がい骨の内側（神経回路網・タンパク質）を指し、コト部分（脳以外）は、頭がい骨の外側にある。尊厳や自尊心、気持ちを汲んだり、心を寄せたりといった、人と人との間の共鳴現象のような部分がコト部分である。

こういった糸川先生の考え方が示されました。

伊勢田堯先生や岡崎祐士先生による、生活臨床（*）の事例紹介から、症状には意味がある場合が多く、精神科的治療には物語が必要となるというお話がありました。

薬物療法だけではなく、患者様の尊厳が保たれるような医療従事者や周囲の対応と、環境調整が非常に大切であること、そして発症した後に、患者様自身が自己肯定感を保ち、新たな物語を生きていくことが病気の回復に繋がっていくことなど、統合失調症についての理解が深まる講演内容でした。

*生活臨床：統合失調症の治療を脳病態から行うのではなく、生活者として支える医療の実践で、群馬大学精神科で始められた統合失調症の治療技法。

参加者の方々の感想から（抜粋）

- ・精神的な病気は脳より心が大きいことがよくわかりました。恒常性の維持が図れることで、快感につながり、脳にもよいということを理解しました。
- ・心は脳より広いはとても印象的。共鳴現象の話が心に残りました。
- ・脳が気持ちが良いと思えることを、今日からやってみようと思います。
- ・心には脳と脳でない部分があること、症状には意味があるというお話を聴いて気持ちが楽になりました。
- ・脳を意識しがちだが、心にも再度意識を向けていくことが重要だと思いました。



- ・今日のお話を振り返り、余り不安にならないように家族がこれからも安心して生活できる場所を作り、考えながら過ごしていこうと思います。
- ・悪い事の原因を探っていましたが、いい状態に注目することは、今からすぐにできる事だと、考え方が発展する機会になりました。
- ・「その人らしさ」をプラスに捉えて、支援業務にあたりたいと思いました。



令和7年度受賞者紹介

総会審議に先立ち、令和7年度の静岡県知事功労別表彰が、静岡県健康福祉部の青山秀徳部長より、また静岡県精神保健福祉協会会長表彰が、静岡県精神保健福祉協会の山末英典会長より授与されました。

令和7年度知事功労別表彰（保健衛生功労）受賞者（2名）

お名前	御 所 属
佐原 伊佐男 様	公益社団法人 静岡県精神保健福祉会連合会
山口 雅弘 様	一般社団法人 静岡県精神保健福祉士協会



令和7年度静岡県精神保健福祉協会会長表彰 受賞者

⊗ 永年勤続功労表彰（7名）

お名前	御 所 属	お名前	御 所 属
水野 拓二 様	公益財団法人復康会 鷹岡病院	村瀬 真啓 様	公益財団法人復康会 鷹岡病院
山本 理恵 様	公益財団法人復康会 鷹岡病院	竹内 和代 様	公益財団法人復康会 沼津中央病院
高橋 朋美 様	公益財団法人復康会 沼津中央病院	成瀬 広子 様	医療法人好生会 三方原病院
小杉 園美 様	医療法人好生会 三方原病院		



⊗ 特別功労表彰 個人（6名）

お名前	御所属（推薦元）
赤池 千明 様	公益社団法人静岡県 精神保健福祉会連合会
吉村 強 様	公益社団法人静岡県 精神保健福祉会連合会
小俣 溶子 様	公益社団法人静岡県 精神保健福祉会連合会
小泉 登資 様	公益社団法人 静岡県断酒会
山本 幹雄 様	公益社団法人 静岡県断酒会
戸田 達也 様	公益社団法人 静岡県断酒会



表彰受賞者の皆様

こころの健康づくり講演会の御案内

精神保健福祉協会では、地域精神保健福祉思想の普及 及び啓発を図り、県民の精神保健福祉の向上に資するため適当と認めた団体に対しこころの健康づくり講演会開催の支援を行っています。
今年度開催された講演会と、9月以降開催予定の講演会を御紹介します。

すでに開催された こころの健康づくり講演会



★精神に障害のある人の気持ちって？

開催日：令和7年6月9日（月）

講師：焼津市基幹相談支援センターCOCO相談支援事業所
COCOサポート主任相談支援専門員
社会福祉 精神保健福祉士 富永 直樹 氏

会場：焼津市総合福祉会館 大会議室

主催者：焼津市障害福祉課

〈内容〉・精神障がいとは何か？疾患の要因は？ ・疾患に応じた、適切なかかわり方とは？
・『じぶん』ができることを考えて、実践につなげる（グループワーク）

〈感想〉研修をとおして、多くの参加者が精神障害のある人に対する考え方が（少し）変わったと答えている。目に見えない障害であるからこそ、相手の言葉を受け止める、否定しない、理解しようとする姿勢が大事であることを学んでいたと感じる。定期的に講演してほしいという声も聞かれたので、今後も継続して講演会を実施していきたいと思う。



★精神保健福祉の地域と家族の今までと将来について

精神疾患の方を持つ家族と地域とのこれからの関わり方について

開催日：令和7年6月15日（日）

講師：静岡福祉大学 名誉教授 山城 厚生 氏

会場：牧之原市総合健康福祉センターさざんか 2階会議室

主催者：NPO法人精神保健福祉みどり会

〈内容〉山城先生の精神保健福祉についてのお考えや願いのお話を伺い、精神疾患を持つ当事者と家族がこれから共に地域で暮らしていくために大切な事について学ぶ。

〈感想〉一般・家族・当事者等の参加があり、精神保健福祉の歴史・精神保健福祉法について詳しく知ってもらった。また地域で共に暮らして行くことの大切さ、身近な事として今後、意識・理解をしてもらう良い機会になった。今後の家族会や当事者の方のあり方について希望を持ち、皆で協力し共に地域で暮らす大切さをより一層強く感じた。



★「今、求められる心理の仕事～学校現場やウクライナ避難者支援を通して見えてきたこと～」

開催日：令和7年6月22日（日）

講師：東京認知行動療法センター 松丸 未来 氏

会場：静岡県男女共同参画センターあざれあ 大ホール

主催者：一般社団法人静岡県公認心理師協会

〈内容〉・心理師とは？ ・スクールカウンセラーの仕事
・ウクライナ避難者支援の仕事 ・今求められる心理の仕事とは

〈感想〉スクールカウンセラーの仕事について、認知行動療法の具体的なお話があり、一般市民の方々にもわかりやすかった。求められる心理職の姿として「専門的知識と経験を元に、人をエンパワメントし、その人の豊かな人生を伴走する人」「自分の実践を常に客観視し、独りよがりにならず、柔軟性がある人」「人のために活かされている自分が好きな人」「人の可能性を信じられて、手放すことができる人」の4つが挙げられ、どれも大事な観点だと思った。



★大規模災害発生時の避難所での障害者支援について

開催日：令和7年7月26日（土）

講師：静岡県災害派遣福祉チーム登録員 渥美 雅世 氏

会場：湖西市健康福祉センター（おぼと）3階研修室

主催者：NPO法人さざなみ会

〈内容〉静岡DWA Tの概要

大規模災害発生時の避難所での障害者支援の実態

〈感想〉障害者は集団生活が苦手なため福祉避難所を利用しないことが多い一方で、環境が充実した避難所においては退所したくない気持ちが強くなるとのこと、災害時における障害者への対応を改めて考えさせられた。

9月以降 開催予定の講演会

☆講演会への参加希望者は、
直接主催団体へお問い合わせください。

開催日	会場	テーマ・講師	主催団体
9月6日（土）	菊川市総合福祉センター プラザけやき	質の良い睡眠とは 中東遠総合医療センター 診療部長 新島邦行 氏	菊川市健康づくり課 0537-37-1175
10月30日（木）	三島市立保健センター	ストレスへの理解とマインドフルネス 臨床心理士・公認心理師・社会学博士 鈴木文月 氏	三島市保健委員会 055-973-3700

心の健康フェア2025講演会 市販薬オーバードーズの理解と援助 ～私たち大人ができること～

講師：国立精神・神経医療研究センター
精神保健研究所薬物依存研究部部長
同センター病院 薬物依存センター長
松本 俊彦 氏

日時：令和7年12月10日（水）
14：30～16：15

会場：静岡県男女共同参画センター
あざれあ 6階大ホール

参加無料 事前申込制 先着順

精神保健福祉協会事務局まで氏名、電話番号を
お知らせください。（メール・FAX・電話）

TEL & FAX 054-202-1220

電話は月・水・金 9：00～16：00のみ

E-mail：sizuoka_seisin@yahoo.co.jp

第46回ハートフルアート展作品集 電子版

静岡県精神保健福祉協会ホームページに公開

<http://www.mental-shizuoka.jp/>

または、下記のQRコードより

9月29日（月）から公開予定

ホームページは
こちらから▶



【当協会の活動に御賛同いただいている
会員企業様】（敬称略・順不同）

静岡銀行・浜松いわた信用金庫
（有）サカエ印刷・（株）日本軽金属蒲原製造所

静岡県精神保健福祉協会

〒422-8031 静岡市駿河区有明町2-20 県総合庁舎別館4階

TEL & FAX 054-202-1220

E-mail：sizuoka_seisin@yahoo.co.jp

（事務局出勤日 月・水・金 9時～16時）